

微生物殺虫剤

# パイレーツ<sup>®</sup> 粒剤



メタリジウム アニソプリエ粒剤

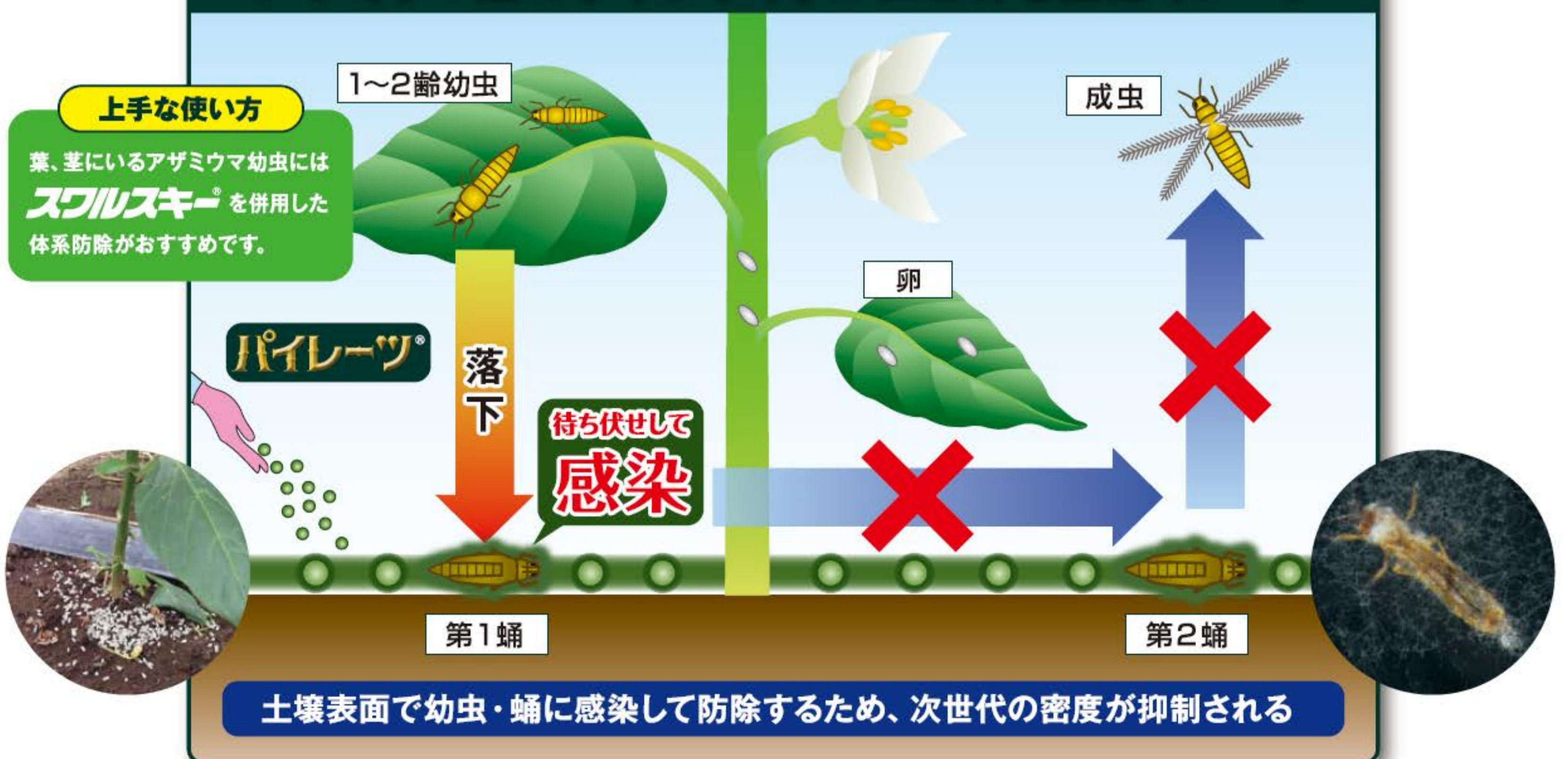


## 株元散布でアザミウマを待ち伏せ!

- アザミウマ類に寄生するメタリジウム菌を有効成分とする微生物殺虫剤です。
- 株元に散布することで、蛹になるために土壌表面に落下するアザミウマ類の幼虫にメタリジウム菌が感染し、防除します!
- アザミウマ類の新成虫が土壌からでてくるときにも感染します!
- メタリジウム菌は製剤に使われているコメを栄養源として増殖するため、長期間に渡って待ち伏せ効果が持続します!



## アザミウマ類のライフサイクルにおける防除イメージ



土壌表面で幼虫・蛹に感染して防除するため、次世代の密度が抑制される

微生物殺虫剤

**パイレーツ<sup>®</sup>** 粒剤

メタリジウム アニソプリエ粒剤

成分：メタリジウム アニソプリエ SMZ-2000株...1×10<sup>7</sup> CFU/g  
玄米等  
性状：類白色粒状

適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタリジウムアニソプリエを含む農薬の総使用回数
なす（施設栽培） きゅうり（施設栽培） ピーマン（施設栽培）	アザミウマ類	5g/株 (5kg/10a)	発生前～発生初期	—	株元散布	—

適切な散布場所

① マルチ無被覆の場合



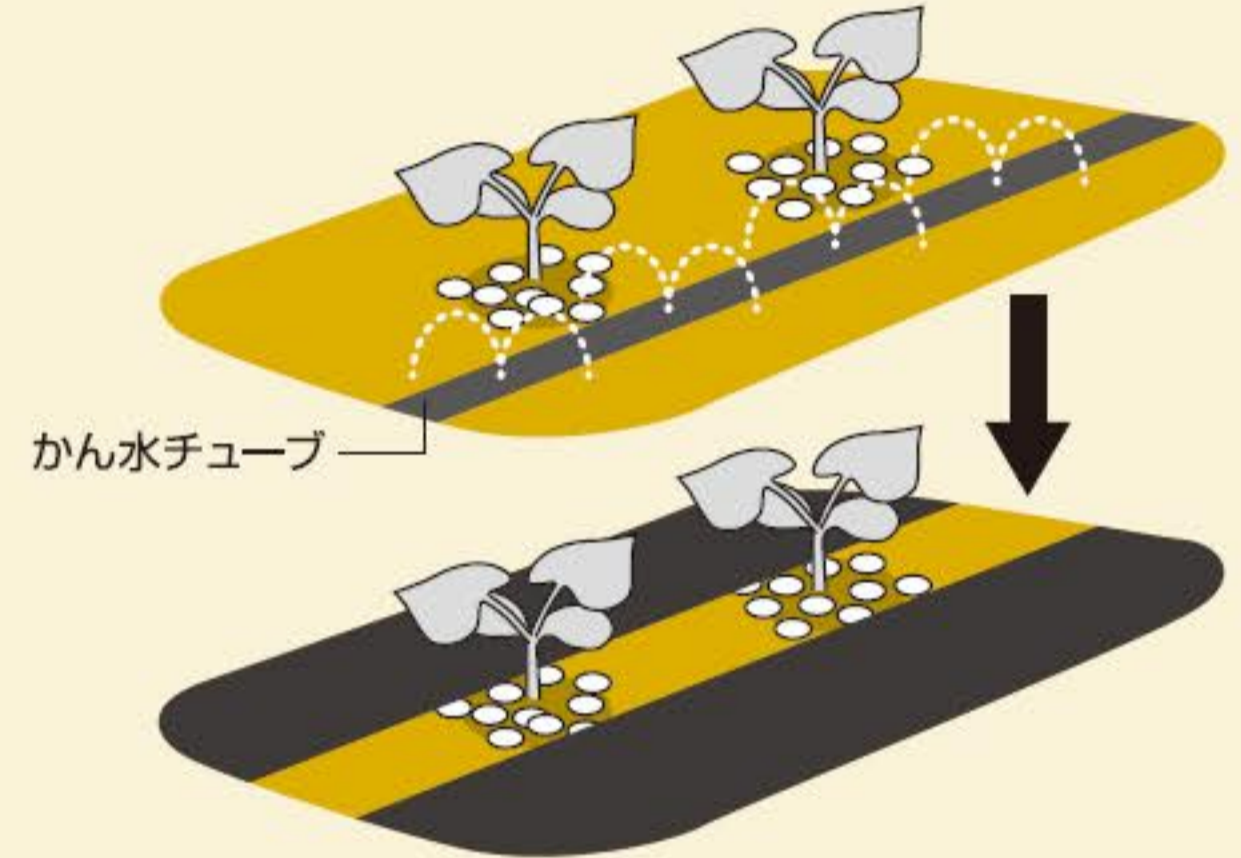
株元に散布します。

② マルチ被覆(植穴)の場合



植穴の部分に所定量を株元散布します。

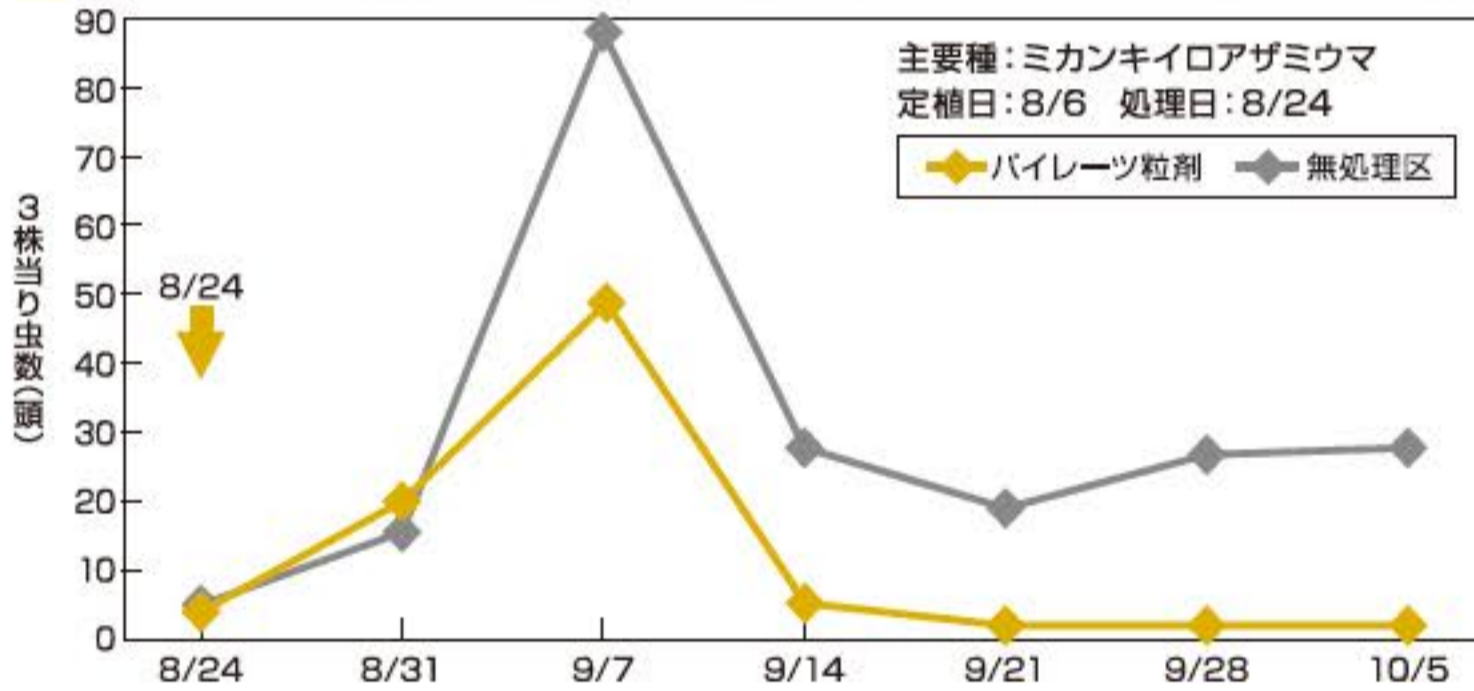
③ マルチ被覆(両サイドからの被覆)の場合



株元に散布し、両側からマルチを中央によせ、隙間をつくります(敷わらも可能)。

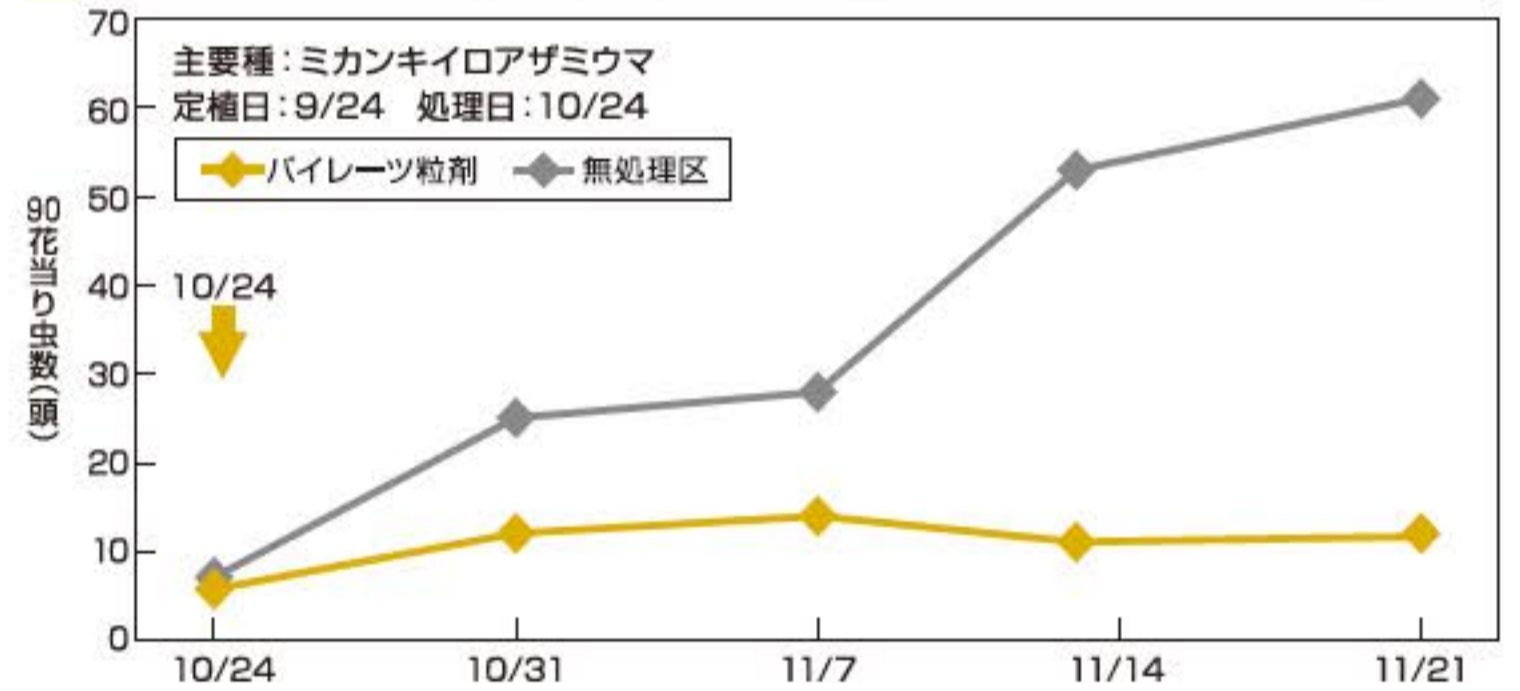
なす/アザミウマ類防除試験結果

平成22年  
宮城県農業・園芸総合研究所



ピーマン/アザミウマ類防除試験結果

平成24年  
大分県農林水産研究指導センター



パイレーツ粒剤は定植時に1回処理することで、効果の発現まで2~3週間ほどかかりますが、その後は処理2ヶ月後近くまでアザミウマ類の密度を低く抑えることがわかっています。

△ 効果・薬害等の注意 (抜粋)

- 本剤は、土壌表面で対象害虫に感染し、防除を行う微生物農薬である。
- 本剤は入手後冷暗所に保存すること。
- 本剤の有効成分は生菌であるので、使用量に合わせて秤量し、できるだけ速やかに使用すること。
- 土壌が極度に乾燥しているときは使用せず、処理後の土壌の乾燥を避けること。
- 本剤の効果を十分発揮させるためには、害虫の発生前に散布すること。
- 本剤の処理後、マルチ付近が高熱になる場合、十分効果が発揮されない場合があるので注意すること。
- 本剤に対して高い殺菌活性を持つ薬剤があるので、本剤の使用期間中に他剤を処理する場合には十分注意すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

△ 安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- 夏期高温時の使用を避けること。

保管

本剤は入手後冷凍は避け、食品と区別して、冷暗所(約4℃)に密封して保管すること。

- ラベルをよく読む。
- 記載以外には使用しない。
- 小児の手の届く所には置かない。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。

マルハナバチ、ミツバチ、天敵などへの影響が少ない、まったく新しいタイプの微生物殺虫剤です。JAS法に適合し農薬散布回数にカウントされないため、有機栽培・特別栽培農産物でも使用可能です。

アリスライフサイエンス株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1  
TEL 03-3547-4415 FAX 03-3547-4695  
http://www.agrofrontier.com

IPM (総合的病害虫管理) でアザミウマ類を防除